

# J Aグループ鹿児島が取り組む主要施策

## I. 日本の食を支える活力ある農業づくり

### ● 主要施策1

J Aグループ全体の事業改革を通じた収入拡大対策とコスト抑制対策を強化し、農家組合員が意欲を持って農業ができるよう農家所得の増大に全力で取り組みます。

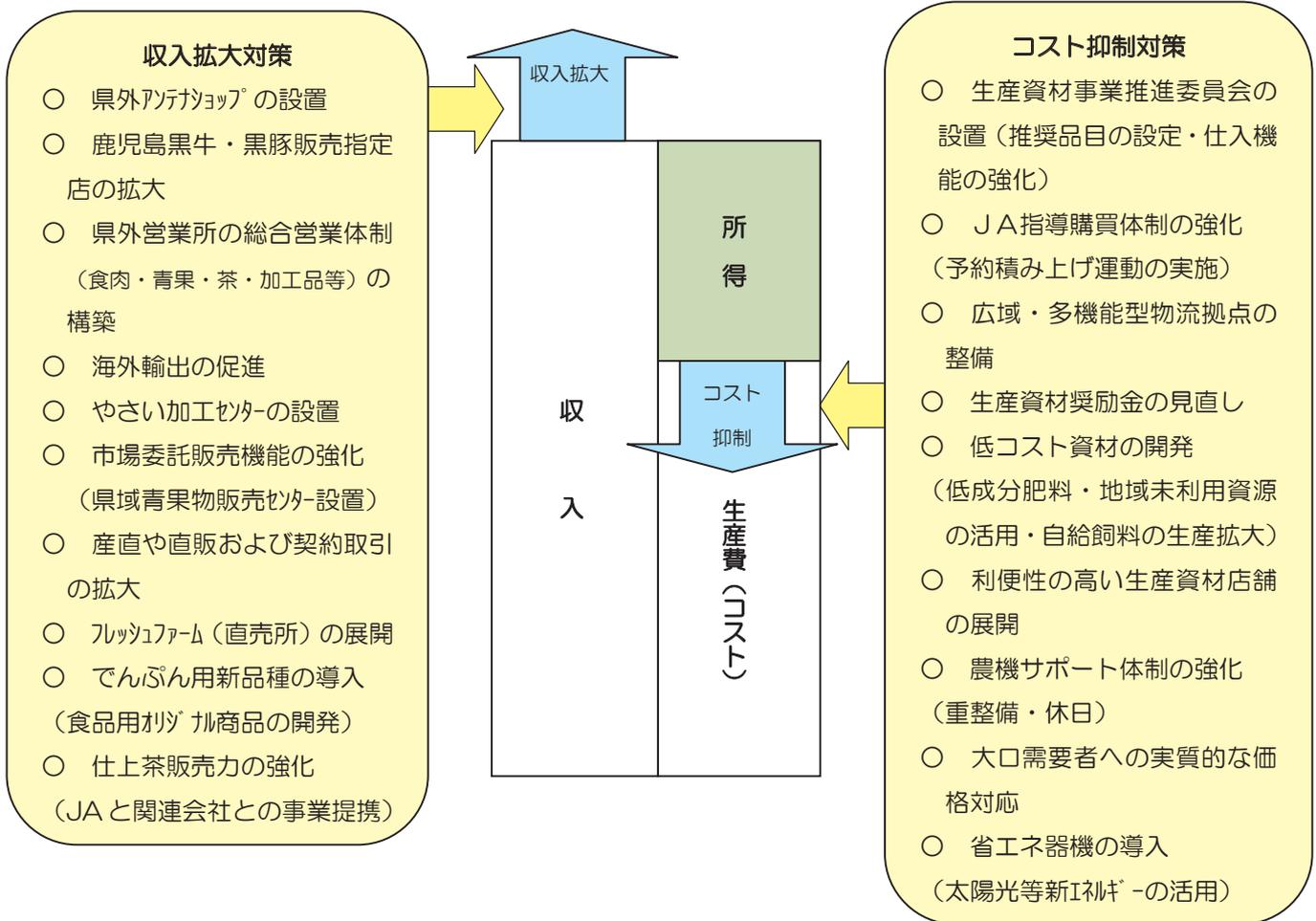
#### 【収入拡大対策】

- 首都圏へのアンテナショップの設置・販売指定店の拡大、県外営業所の総合営業体制（食肉・青果・茶・加工品等）の構築および海外輸出など販路拡大による販売力を強化します。
- J A・県連一体型運営方式によるやさい加工センターの設置など農畜産物の加工事業を拡充し、高付加価値化による収入拡大に取り組みます。
- J A・県連共同運営による青果物販売センターを設置し、市場委託販売の効率化と直販事業の強化に取り組みます。
- 産直グループの育成など産直事業の拡大や新たな契約取引の導入（米・食肉・青果・でん粉）など契約販売の強化に取り組みます。
- Aコープの新業態「フレッシュファーム」（青果物直売コーナー設置型）の展開など農産物直売所を中心とした地産地消運動を強化します。

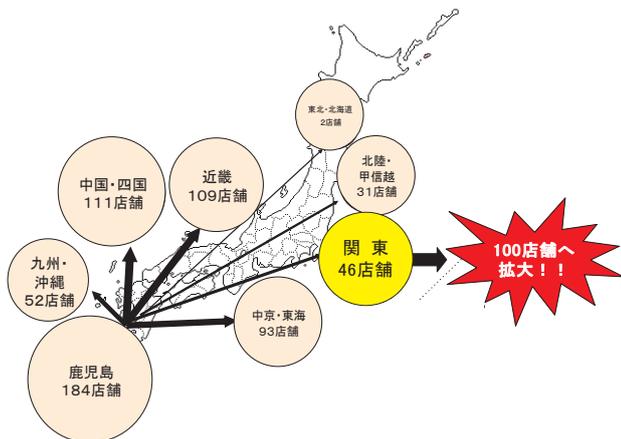
#### 【コスト抑制対策】

- 生産資材事業推進委員会の設置による推奨品目の設定と仕入機能の強化に取り組みます。
- 施肥・防除アドバイザーや畜産飼料専任担当者の配置、予約積み上げ運動の展開などJ A指導購買体制を強化します。
- 県連の仕入れ機能強化、J A・県連を通じた物流合理化、奨励金の見直し（奨励体系・価格折込み）などにより低廉生産資材の供給に努めます。
- 低成分肥料や地域未利用資源を活用した低コスト資材の開発・普及に取り組みます。
- 農家組合員・地域住民の利便性を確保するためJ A・県連一体型の新たな業態による多機能型生産資材店舗を新規に展開します。
- 農機事業における重整備体制および土日・祝日のサポート体制を強化します。
- 太陽光等新エネルギーの活用による省エネに取り組みます。

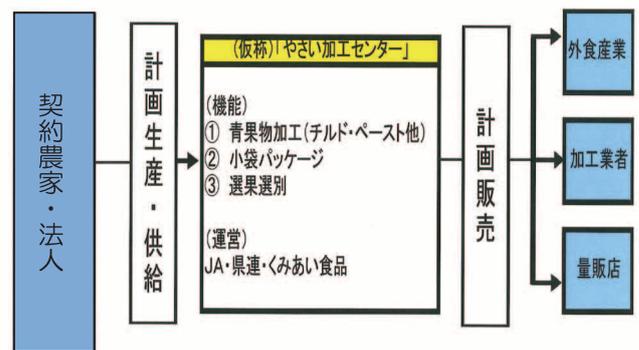
## 【農家所得の増大対策】



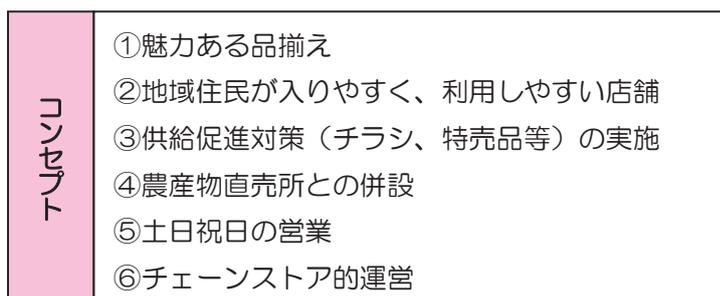
## 【鹿児島黒牛の販売指定店拡大】



## 【やさい加工センター（イメージ）】



## 【チェーンストア方式による利便性の高い農業・園芸資材専門店】

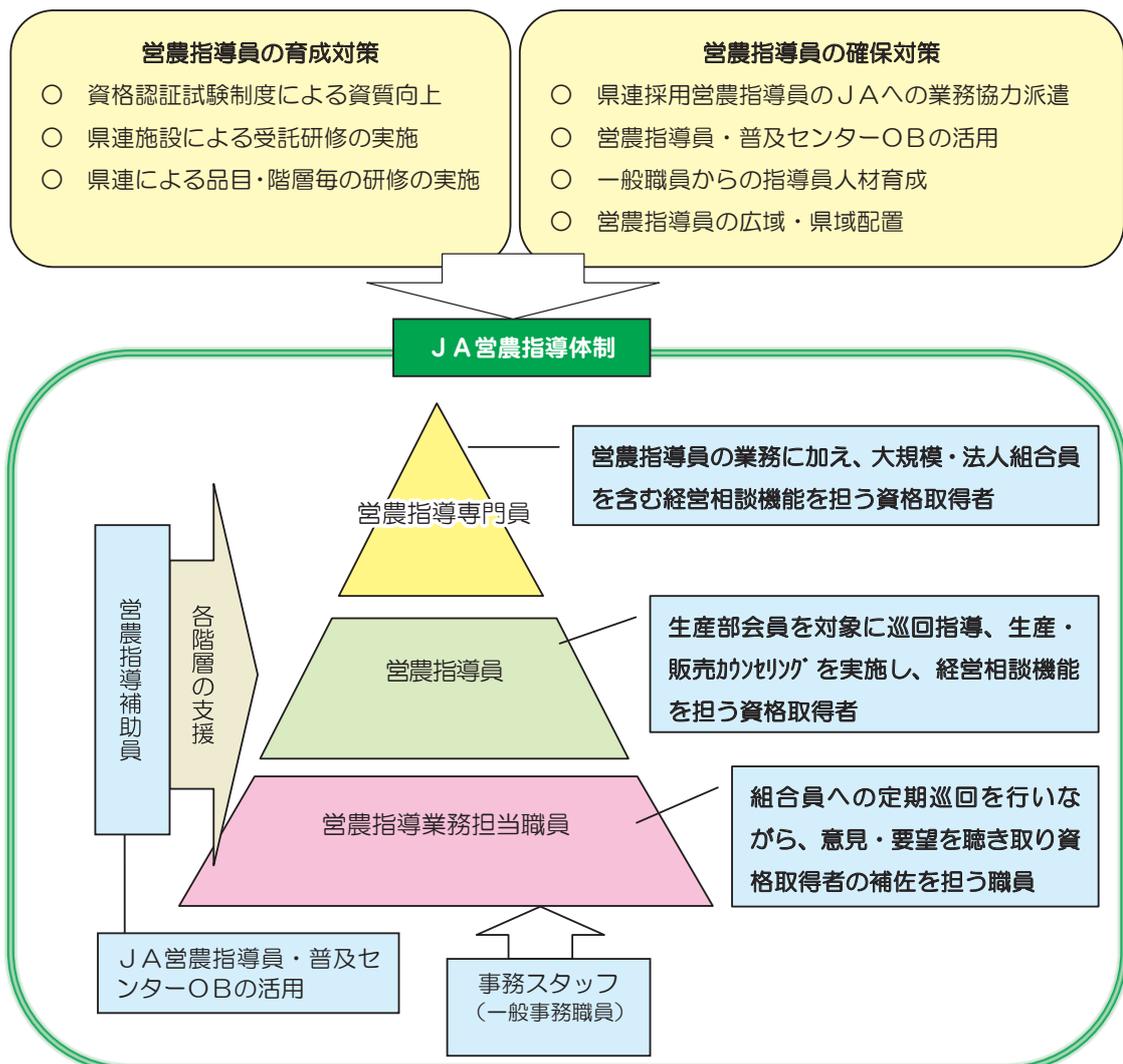


● 主要施策2

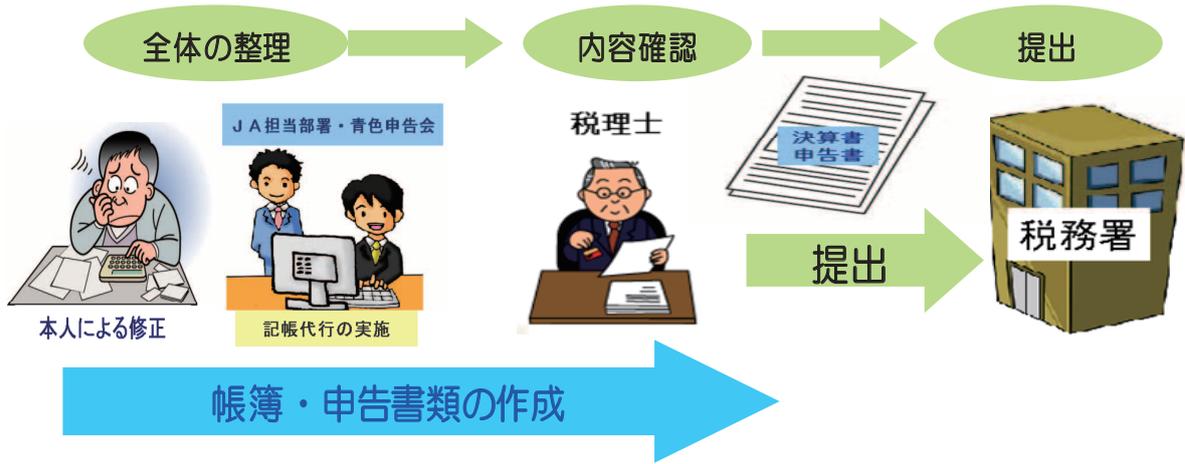
営農指導に加え、農家組合員から要望の多い税務支援、農業経営分析などの経営管理支援を強化します。

- 指導員育成プログラムを策定し、農家組合員の要望に対応できる営農指導員の育成に取り組めます。
- 県連による営農指導員（園芸）の採用とJAへの業務協力派遣制度を創設します。
- 営農指導員（養豚・果樹・花き）を広域・県域に再配置し、より効率的な営農指導体制を構築します。
- 土壌・施肥・作物・飼養管理診断、生産販売カウンセリングの実施による生産技術指導を強化します。
- 専門家と連携した経営支援チームを設置し、税務支援、農業経営分析・診断、経営改善指導など経営管理支援を強化します。
- IT技術を活用した営農指導・経営管理支援を強化します。

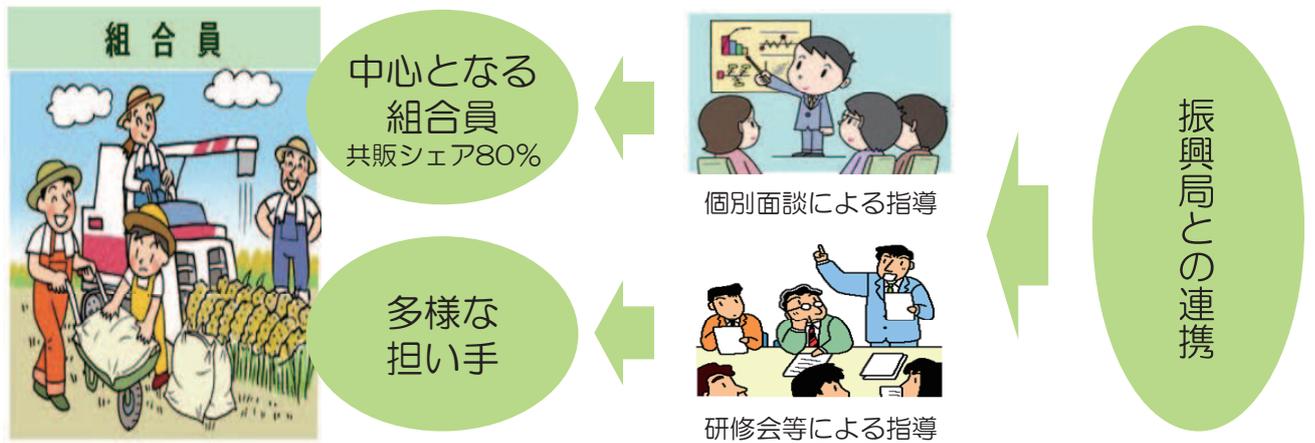
【営農指導員の育成・確保対策】



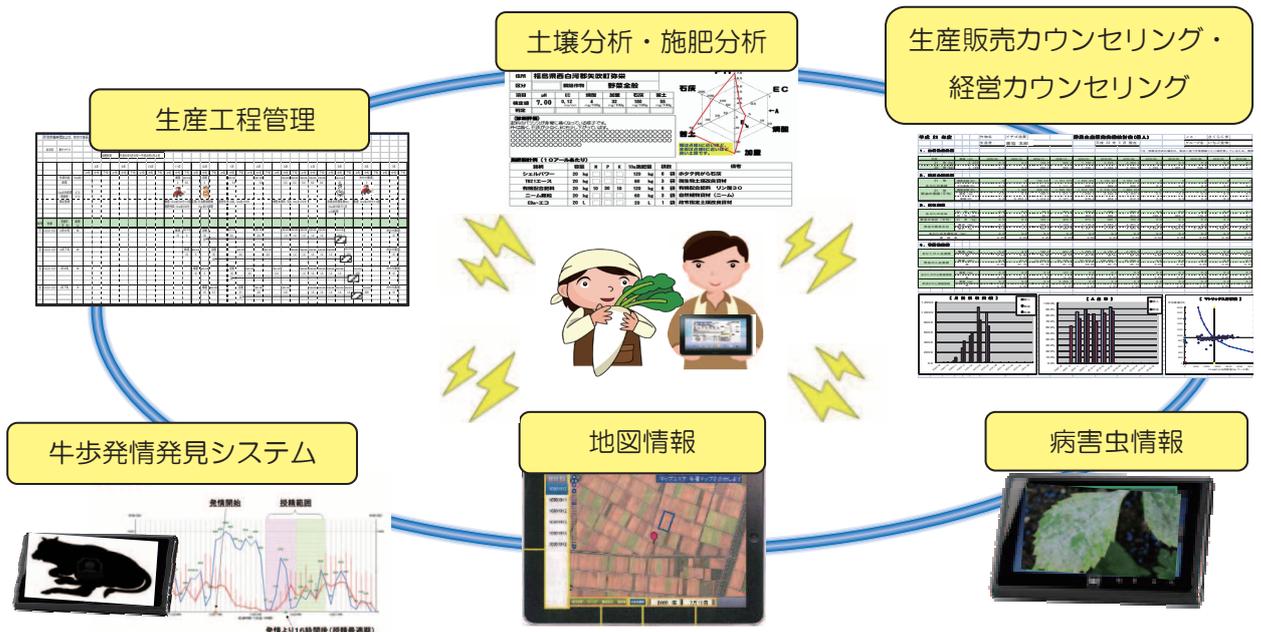
【Web簿記システムを使った記帳代行と青色申告支援】



【担い手に対する経営管理指導】



【IT技術を活用した営農指導・経営管理支援対策】



### ● 主要施策3

出向く体制の構築による大規模・法人農家への対応力を強化するとともに、新たな担い手や多様な担い手の要望に応える各種支援に取り組みます。

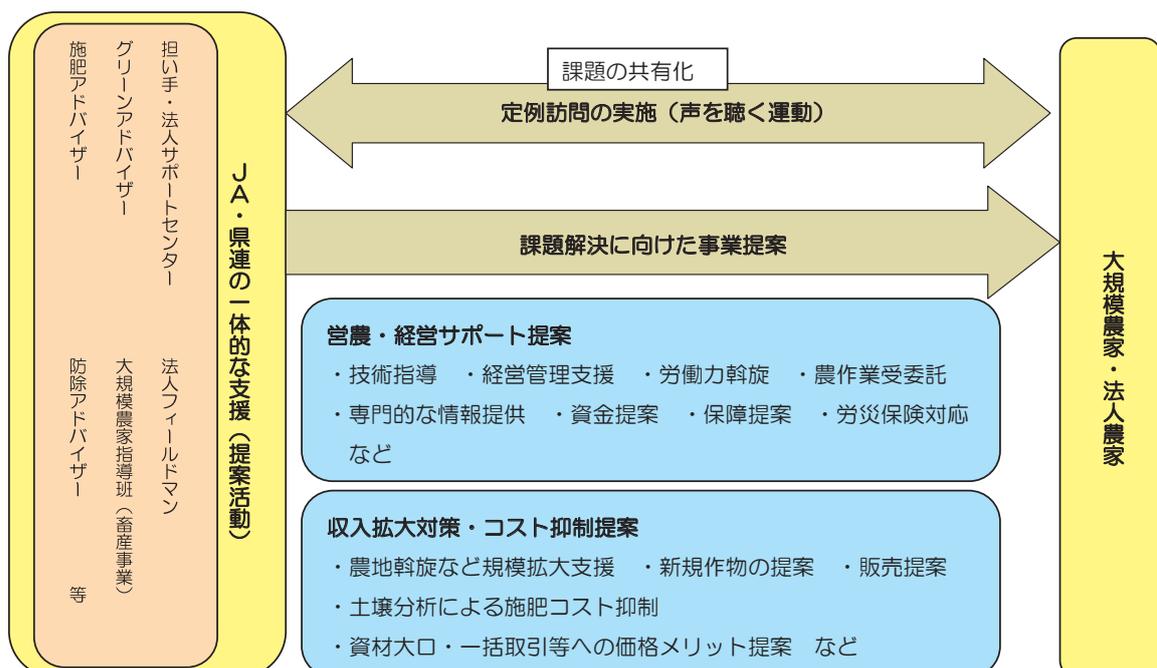
#### 【大規模・法人農家対応】

- 担い手・法人サポートセンターが中心となった法人農家の声を聴く運動を展開し、課題解決に向けた事業提案を強化します。
- JA・県連による大規模農家指導班の設置（畜産部門）や法人フィールドマン・グリーンアドバイザーの配置（園芸農産部門）など出向く体制を構築します。
- 生販購一貫した事業方式（生産、販売、購買、指導、金融事業が一体となった事業方式）の仕組みを構築します。
- 農機事業において法人担当整備士の育成と重整備センターの機能を強化します。
- 法人クラブ（野菜）、パスポートクラブ（果実）、夢創人の会（花き）、後継者クラブ（養豚）を核とした担い手の育成に取り組みます。

#### 【新たな担い手・多様な担い手対応】

- 行政・農業公社等と連携した新規就農支援（営農塾、就農研修）を実施します。
- JA・県連でのトレーニング施設を活用した新規就農者の育成・支援を強化します。
- 各種畜産事業方式（肉用牛繁殖経営安定事業・肉用牛肥育経営パイロット事業・養豚肥育安定事業）による担い手の育成に取り組みます。
- 定年帰農者や元気な高齢者等に対するファーマーズマーケット（農産物直売所）を核とした栽培指導や販売機会の提供に取り組みます。
- 青年農家が、農業生産基盤を支え、地域の中で活躍できるための強い経営体づくりを支援します。

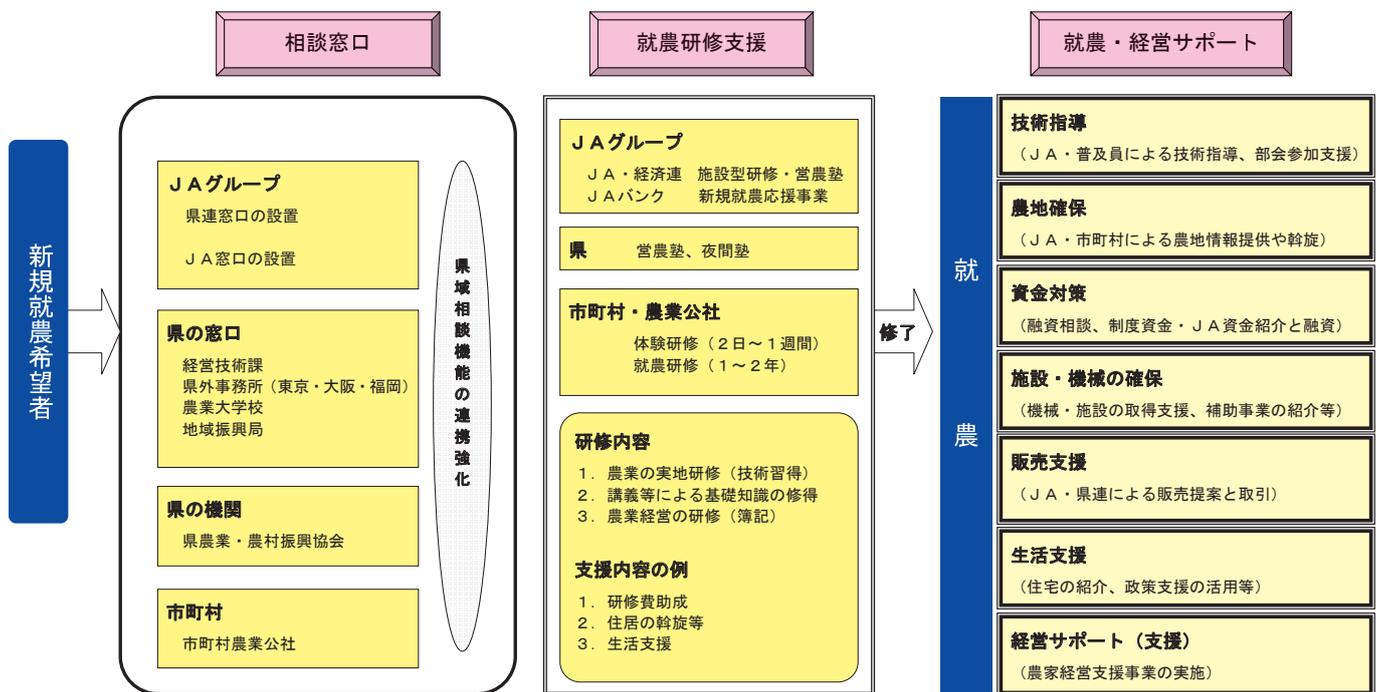
#### 【大規模・法人農家に対する支援イメージ】



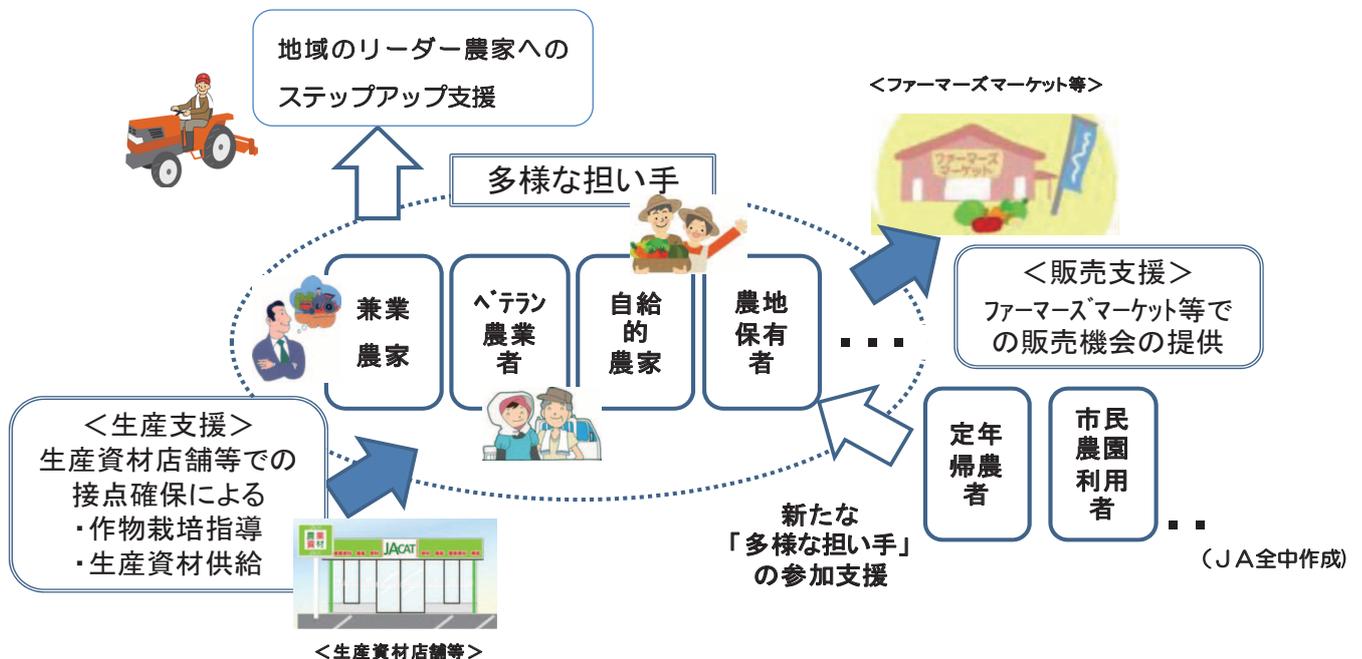
# 【「新規就農支援システム」のフローチャート】

## 新規就農希望者の相談・研修支援

## 新規就農者の就農・経営サポート



# 【多様な担い手へのJ Aによる支援対策】

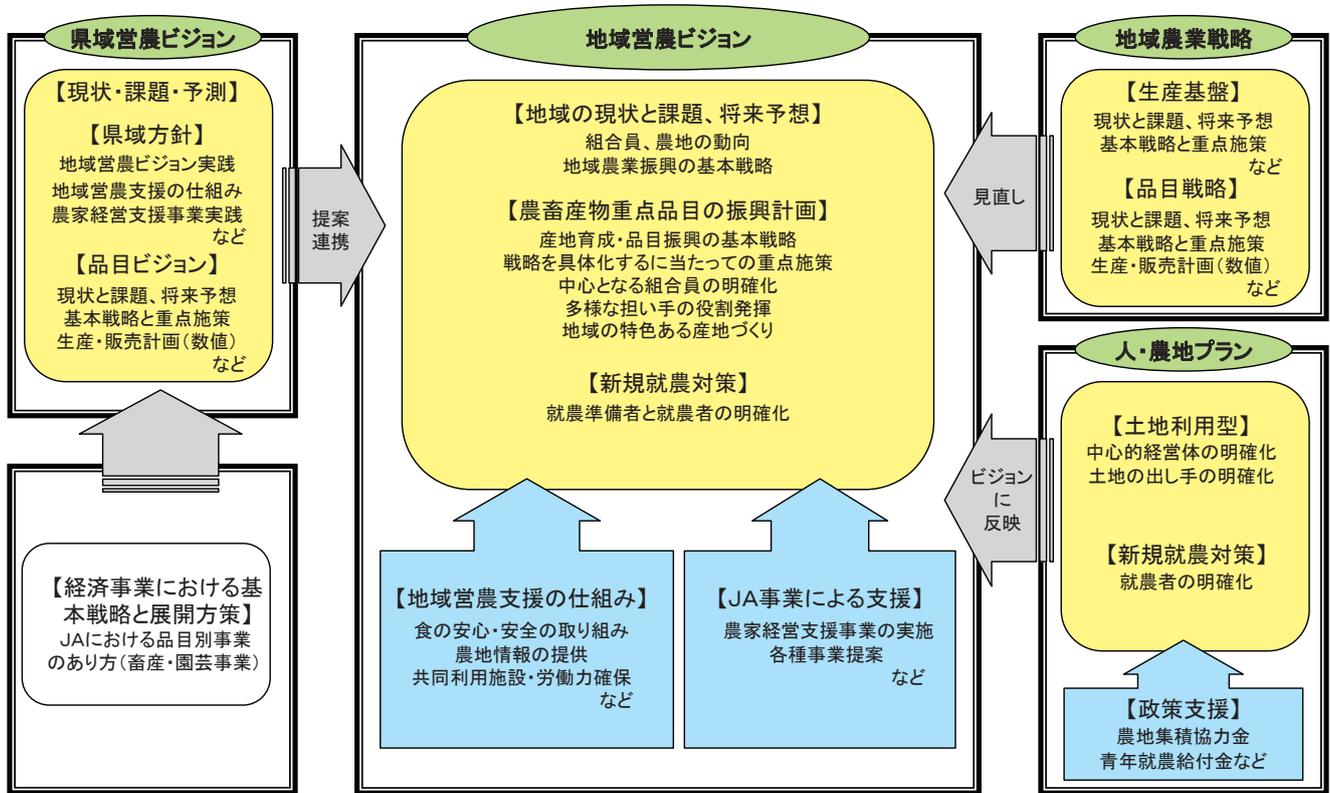


● 主要施策4

農家組合員とともに、農業・農村の将来ビジョンを描き、地域全体で農地・農業を互いに守り支える「強い農業」の仕組みをつくります。

- 行政（県）と連携し、地域の農業振興に向けた基本方針・品目ビジョンなど県域営農ビジョンを策定・提案します。
- 行政（市町村）と連携し、県域営農ビジョンや人・農地プラン（市町村が策定する農業振興計画）を踏まえた地域営農ビジョンを策定、実践します。

【地域農業ビジョン（イメージ）】

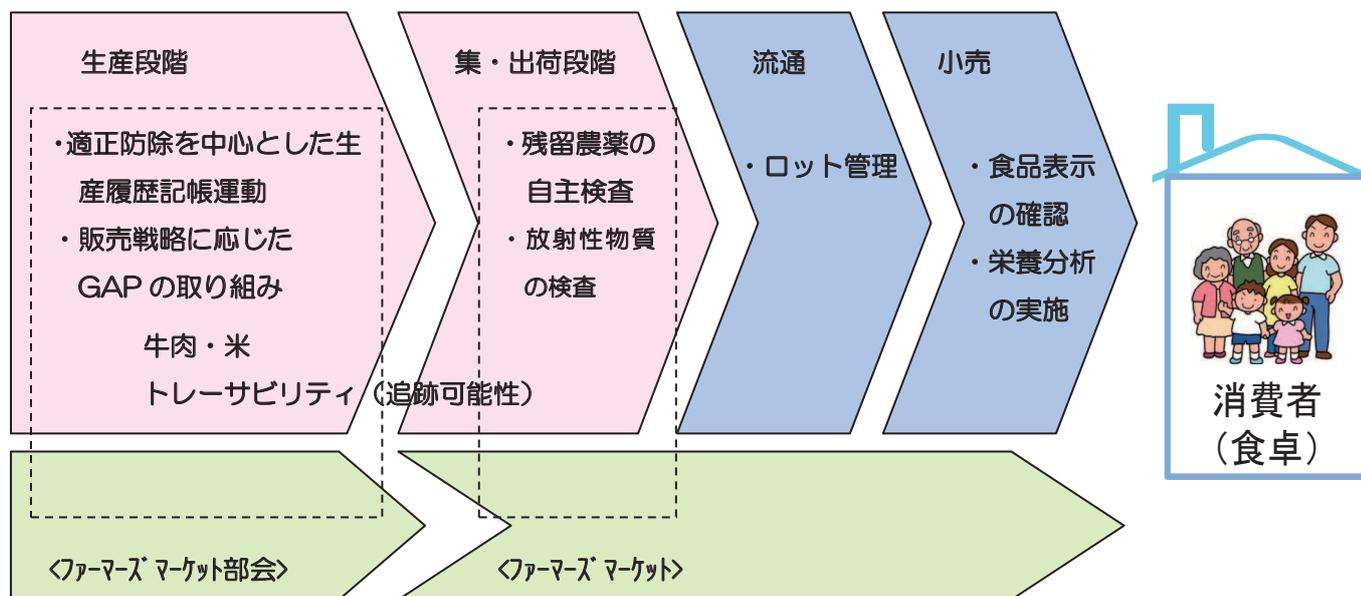


● 主要施策5

安心・安全な農畜産物を消費者に届ける安心・安全システムの強化に取り組むとともに、本県基幹作物を支える政策提案とその実現に取り組めます。

- 「かごしまの農林水産物認証制度（K-GAP）」の普及促進に取り組めます。
- 生産履歴記帳の徹底やJAグループ鹿児島残留農薬自主検査等を継続実施します。
- 各種政策提案やTPP参加阻止対策に取り組めます。

【JAグループとしての食の安心・安全確保に向けた取り組み】



【アジア太平洋地域の経済連携の動き】

